

授業科目 介護実習指導Ⅱ

社会福祉学科  
専門

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	社会
岡田 史、大槻美智子 宮下榮子 渡辺敏文	開講時期	後期	必修・選択	介護福祉コース必修選択
	単位数	2	時間数	30

<一般目標：G I O>

実習Ⅰにおける学びの振り返りを行い、実習Ⅱでの実習目的・実習課題の明確化をはかり、施設実習に向けての心構えを作る。

<行動目標：S B O>

- 1、実習施設の理解を深める。
- 2、施設職員の業務及び役割を理解する。
- 3、実習における自己課題を設定する。
- 4、実習における態度倫理を学び、学習への心構えを確立する。
- 5、個別介護のあり方について学び、個人の尊厳やプライバシーについて更に深く学ぶ。
- 6、地域において施設の果たす役割について理解できる。

回数	授業計画又は学習の主題	※SBO番号欄は該当する行動目標(SBO)の番号を記入して下さい。(必要に応じ野線を引いて下さい。)	
		SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	オリエンテーション		演習
2	介護実習Ⅰを基にして、実習Ⅱに向けての自らの目標を明確にする。		演習
3	介護に関する各サービスについての理解が出来る。		演習
4	介護サービスの中で施設の持つ役割が理解できる。		演習
5	介護実習計画を立案する。		演習
6	介護実習計画の立案とともに、提出書類の作成を行う。		演習
7	自らの立てた実習計画が、実習施設において実施可能であるかアセスメントする。		演習
8	介護計画作成のプロセスについて学ぶ。		演習
9	介護計画を実際に事例を用いて作成する。		演習
10	個別援助におけるニーズについて学習する。		演習
11	事例を用いて、ニーズについて学び、模擬カンファレンスによって課題を共有する。		演習
12	施設でのオリエンテーションや、提出書類について確認する。		演習
13	基本的なマナーについての学習を行う		演習
14	介護実習Ⅱに向けて基本的なところを復習する。		演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	中央法規出版 岡山県介護教育研究会 介護福祉演習ノートⅠ「介護福祉活動における基本技術」			
参考書	必要時推薦します。			
その他の資料	随時配布いたします。			

【評価方法】 出席および授業態度 試験	【履修上の留意点】 演習が中心なので、授業を聞くというのではなく、授業に参画するという気持ちで出席してください。
---------------------------	---